

Green Festival 2006

第237回

5月28日(日) 15:00 開演

●神戸学院大学吹奏楽部 第20回サマー・コンサート

客演指揮/松井隆司 指揮/坂元弘美

第238回

6月2日(金) 17:00 開演

●人形劇団 かわせみ座 公演「Silent Poems 2006」

作・美術・演出/山本由也 出演/山本由也 益村 泉

第239回

6月10日(土) 15:00 開演

●小林美恵(ヴァイオリン)・清水和音(ピアノ) デュオの午後

—ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ全曲連続演奏 第3回(最終回)—

第240回

7月8日(土) 15:00 開演

●林泉弦楽四重奏団 コンサート

—ベートーヴェン 弦楽四重奏曲全曲連続演奏 第5回—
ヴァイオリン/林 泉 ヴァイオリン/宮下和子
ヴィオラ/賤津 進 チェロ/林口真也

第241回

7月15日(土) 15:00 開演

●大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

指揮/下野竜也
独奏/梅沢和人(ヴァイオリン) 新 真二(コントラバス)

入場無料

会場/神戸学院大学(有瀬キャンパス)メモリアルホール(9号館) 主催/神戸学院大学 後援/兵庫県・(財)神戸市民文化振興財団 参加/関西元気文化圏

●お申込方法 ○官製往復ハガキを使用してください。

申込者多数の場合は抽選になります。

・往信裏面に①公演日 ②公演名 ③住所 ④氏名 ⑤電話番号をご記入ください。

・返信表面にお申し込みの方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

・返信裏面は空白のままをお願いします。

・1枚につき1公演、1名様のみのお申し込みになります。

・受付期間は各公演の1カ月前～2週間前(必着)です。

・学齢期に達していないお子さまの申込および入場はできません。

インターネットホームページ <http://www.kobegakuin.ac.jp/> 神戸学院大学[地域とともに]

●お申込み・お問い合わせ先

〒651-2180 (郵便番号のみで到着します)

神戸学院大学グリーンフェスティバル係 電話078-974-1607(担当課 学生生活課)

●交通経路と所要時間

① JR「明石」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約20分)

② 神戸市営地下鉄「伊川谷」駅より「神戸学院大学行」バスに乗車(約15分)

③ JR「朝霧」駅より「神陵台行」バスに乗車、終点下車後徒歩約12分

※お車でのご来場は固くお断りいたします。

関西から

文化力
POWER OF
CULTURE



神戸学院大学吹奏楽部 第20回サマー・コンサート

- 第1部……ポップスステージ
- 第2部……企画ステージ「神院旅行案内所の1日」
- 第3部……シンフォニックステージ

今年も3部構成でお贈りいたします。第1部はポップスステージといたしまして、『あの日聞いた歌』、『ジェラシックパークハイライト』など一度は耳にしたことのあるような曲をお贈りします。第2部は、「神院旅行案内所の1日」と題しまして、数々の国をテーマにした曲を演奏します。私たちと一緒に世界を旅しませんか?そして第3部はシンフォニックステージといたしまして、伊川谷北高等学校より松井隆司先生を客演指揮にお迎えし、本年度吹奏楽コンクールで演奏する曲を一足先にお贈りします。新入部員も含め、部員一同精一杯演奏いたします。是非吹奏楽の音色を聴きにいらしてください。

詳しい情報はこちらへ→http://www.geocities.jp/kgu_wind_orchestra/

人形劇団 かわせみ座 公演『Silent Poems 2006』

- 作・美術・演出……山本由也
- 出演……山本由也 益村 泉

4年ぶりに、かわせみ座が帰ってくる! 美しい造型、圧倒的な技術、人形に命が吹き込まれるとは、こういうことをいうのか。言葉を語らない人形たちが、喜び、寂しがり、戯れ、挑み、ついに自らを解放します。その姿は、生身の俳優では決して表現できない感動をよびます。ほんとうに奇跡のような人形パフォーマンスです。

今回の『Silent Poems』は、1982年のかわせみ座創立以来、創りつづけてきた小品集。素敵なファンタジーです。多くの人形たちの中から、誰が出演するのか、まだわかりません。ヤムーなのか、プラテロなのか、それとも未知の新しい人形がデビューするのか。世界中の子どもとおとなを魅了してきた『Silent Poems』の2006年版、ぜひあなたの夢と出逢ってください。

小林美恵(ヴァイオリン)・清水和音(ピアノ) デュオの午後

- 曲目 ●ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第3番 変ホ長調 作品12-3
- ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第7番 八短調 作品30-2
- ベートーヴェン……ヴァイオリンとピアノのためのソナタ 第10番 ト長調 作品96

いま3種類のベートーヴェン連続演奏が進行中ですが、小林さんと清水さんによるヴァイオリンとピアノのためのソナタは昨年春から始めて3回目の今回で完結となります。しばしば共演されて息もぴったりのお二人の白熱の演奏は過去2回とも大好評で、大いに期待が高まります。全10曲の中ではポピュラリティの面からはすでに演奏された第5番(春)や第9番(クロイツェル)でしようが、今回演奏される第7番を評価する人も少なくありませんし、小林さんは第10番がお気に入りのようです。小林さんは7回目、清水さんは3回目のフェスティバル登場です。

林泉弦楽四重奏団 コンサート

- 曲目 ●ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第6番 変ロ長調 作品18-6
- ベートーヴェン……弦楽四重奏曲 第14番 嬰ハ短調 作品131

2004年春から始まった好評のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲の連続演奏第5弾。弦楽四重奏曲は数多いクラシック音楽のジャンルの中で最も地味なものひとつと考えられますが、それだけに実に深い味わいがあります。とくに今回もプログラムに入っているベートーヴェンの5曲の後期四重奏曲は、彼の最も偉大な業績と評価されており、中でもこの作品131を頂点に置く識者が多いようです。7つの楽章が切れ目なしに続けて演奏されるという破格の構成は前代未聞のもので、そこから立ちのぼる音楽の内容の深さも群を抜くものです。

大阪フィルハーモニー交響楽団 コンサート

- 曲目 ●クーセヴィツキー……コントラバス協奏曲 嬰へ短調 作品3
- メンデルスゾーン……ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64
- シューベルト……交響曲 第4番 八短調 D.417 「悲劇的」

2年間お休みをいただいた大阪フィルハーモニーが16回目のフェスティバル登場です。各パートの首席奏者を独奏者とする協奏曲を組み込んだプログラミングは木管楽器から始めて金管楽器、ティンパニ、ハープと巡り、前回から弦楽器の独奏となっていますが、今回はヴァイオリンとコントラバスの登場(来年のヴィオラとチェロで一応のひとめぐりとなります)。コントラバスはそもそも独奏楽器として扱われてなかったのが、この協奏曲は必ずしも数多くは無いのですが、往年の名指揮者クーセヴィツキー(彼はコントラバスの出身です)による今回の曲はこのジャンルで最も有名なもののひとつです。メンデルスゾーンは申すまでもなく、数多いヴァイオリン協奏曲の中で「女王」と評されるとびきりの名曲。日の出の勢いで各オーケストラから引っぱりだこの下野さんが振るシューベルトも、演奏頻度はハ長調の大交響曲やいわゆる「未完成」の交響曲には及ばないとしても19歳の作品とは思えぬ充実した内容を持っています。